

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 19 号)

2022年 3月18日発行
兵庫のり研究所

海域東部では、小型珪藻のスケルトネマがやや確認されます。海域西部では、栄養塩を消費する珪藻類はほとんど確認されませんでした。窒素は、明石海峡部の海水の影響が見られる海域東部で概ね $2 \mu\text{g-at/L}$ 台、雨天での調査ということもあり、陸水等の影響が見られる海域西部の地先で概ね $4 \mu\text{g-at/L}$ 台、沖筋で $1 \mu\text{g-at/L}$ 台前半の値でした。

(水温) 漁場内平均 10.2°C 。昨年比 0.3°C 低く、平年比 0.4°C 高い。(塩分) 平均 32.00psu 。前回 (31.88) より約 0.1psu 高い。
(栄養塩、珪藻) 明石海峡部～二見漁場東部では、依然としてスケルトネマが海水 1mL あたり $300\sim 600$ 細胞 (前回値: $400\sim 700$ 細胞) 確認されたが、細胞色素はより薄くなっており活力は更に低下していると思われる。二見漁場以西の地先では、リゾソレニアとスケルトネマがごく僅かに散見される。沖筋では、珪藻類はほとんど確認されない。
今回の分析結果では、アンモニア態窒素がやや多いことから、窒素の値が夜光虫の影響により、実際よりも高くなっている可能性があります。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.1	10.2	9.8	10.5
窒素	2.0	2.9	3.4	2.2
リン	0.24	0.27	0.31	0.29

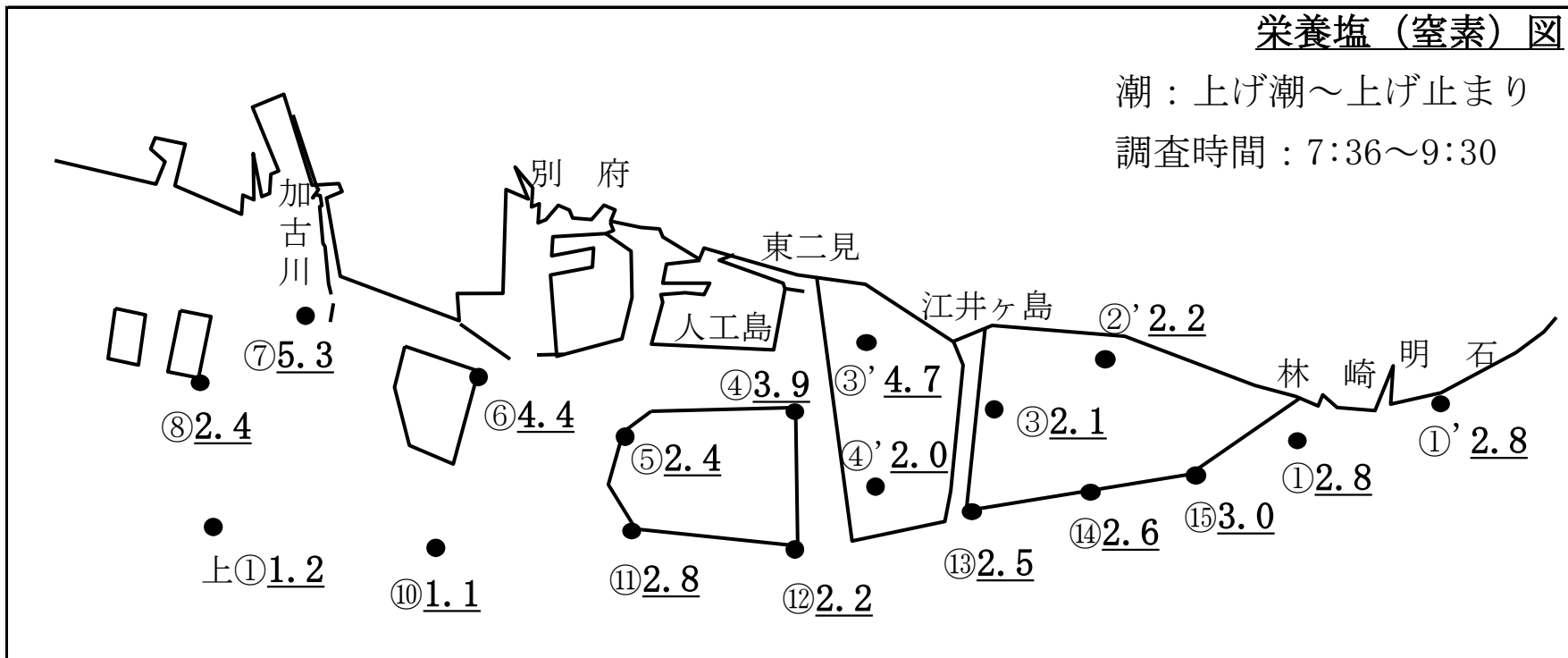
(3/11) (3/16)

2022年 3月18日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ潮～上げ止まり

調査時間：7:36～9:30



水温図

